

# IBIM 明治大学ビジネス・イノベーション研究所

## 第4回シンポジウム

### 「復興と日本の経済・経営の近未来 — 弛まざる構想とイノベーション」

日 時：2011年11月19日（土）開場 13:00 開会 13:30 ~

会 場：明治大学紫紺館3階S3・4（〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1）

パネラー：橋川武郎（一橋大学大学院商学研究科教授）・植田和弘（京都大学大学院経済学研究科教授）

参加費：無料 ただし、定員100名（定員になり次第締め切らせていただきます）

#### シンポジウム趣旨

2011年3月11日の東日本大震災は、地震を素因とする津波も発生し、多くの人命・生命を奪い、住宅や工場・事業所を押し流し、インフラにも甚大な被害をもたらした。そして、震災後の復旧を遅らせているのは、東電の福島第一原子力発電所のもたらしている放射能被害である。

こうした事態は、我々に、基本的な課題を突き付けている。環境問題とエネルギー政策、私たちの暮らしと効率的で安定的なエネルギー政策、産業政策とエネルギー政策等々の基本的課題である。

私たちの生活や産業の基本的なレベルでのイノベーションの方向や内容が問われていると言えよう。言い換えれば、復興と日本経済・経営の近未来が問われているのである。

原子力を含めた、あるいは含めない電源の最適なバランスは、喫緊の弛まざる構想とイノベーションの課題であり、対象なのである。

本シンポジウムでは、経済産業省の諮問機関である総合資源エネルギー調査会基本問題委員会の委員でもある橋川武郎一橋大学大学院教授（専門；日本経営史・エネルギー産業論）と植田和弘京都大学大学院教授（専門；環境経済学・国際財政学）をパネラーとしてお招きし、IBIM 明治大学ビジネス・イノベーション研究所副所長佐々木聡教授（専門；経営史・企業者史）並びに所長藤江昌嗣教授（専門；統計学・経済学）を交え、「復興と日本の経済・経営の近未来—弛まざる構想とイノベーション」をテーマに、シンポジウムを開催する。

**事前申し込み先** IBIM 明治大学ビジネス・イノベーション研究所；<b.inove2007@gmail.com>

①氏名 ②所属 ③連絡先 を明記の上、参加申し込みの旨を記入の上、お送りください。尚、当日は定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、事前申し込みをされた場合でも、遅参された場合、入場ができないことがありますので、ご了承ください。

#### 会場へのアクセス

- JR 総武・中央線「御茶ノ水駅」 御茶ノ水出口 徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」 B1・B5出口 徒歩6分
- 東京メトロ半蔵門線「神保町駅」 A5出口 徒歩7分
- 都営新宿線・都営三田線「神保町駅」 A5出口 徒歩7分

主催：IBIM 明治大学ビジネス・イノベーション研究所

## シンポジウムスケジュール

13時開場

13時30分 開会 開会の辞 藤江昌嗣 (IBIM 明治大学ビジネス・イノベーション研究所所長)

13時45分 「震災後の地域復興と原発事故後のエネルギー・環境政策」 橋川武郎 (一橋大学)

14時45分 「震災復興とエネルギー政策の転換」 植田和弘 (京都大学)

15時45分 コメンテーター 佐々木聡 (IBIM 明治大学ビジネス・イノベーション研究所副所長)

<15時55分~16時10分 休憩>

16時10分 ディスカッション (質疑応答)

パネラー 橋川武郎教授・植田和弘教授・佐々木聡教授

進行 藤江昌嗣教授

17時10分 閉会の辞 坂本喜杏 (富山房インターナショナル社長)

### パネラー・進行 紹介

#### 橋川 武郎氏

一橋大学大学院商学研究科教授  
経済学博士



#### 略歴

1951年(昭和26年)、和歌山県生まれ。経営史学者。東京大学経済学部経済学科、同経営学科卒業。東京大学大学院を経て、青山学院大学経営学部助教授、ハーヴァード大学ビジネススクール客員研究員、東京大学社会科学研究所助教授、同教授、一橋大学大学院商学研究科教授。その他、スイスサンガレン大学、韓国延世大学校、ドイツベルリン自由大学の各客員教授、総合資源エネルギー調査会委員などを歴任。日本におけるエネルギー産業(特に電気、石油)の研究に関する代表的な学者の一人。近年は流通業や企業の金融に関する研究なども行っている。また、東大社会学研究所時代から参画する希望学プロジェクトに関連し、釜石市を例に取った、地方・地域経済活性化についての研究も行っている。

#### 植田 和弘氏

京都大学大学院経済学研究科教授  
工学博士・経済学博士



#### 略歴

1952年(昭和27年)、香川県生まれ。経済学者。京都大学工学部卒業。大阪大学大学院博士課程修了。京都大学経済研究所助手、同大学経済学部助教授、ロンドン大学および未来資源研究所研究員を経て、京都大学経済学部教授、同大学大学院地球環境学術教授を両任。現在に至る。日本学術振興会学術システムセンター主任研究員。日本計画行政学会論説賞、環境科学会学術賞、廃棄物学会著作賞、公益事業学会奨励賞、国際公共経済学会賞などを受賞。著書に『拡大生産者責任の環境経済学：循環型社会形成に向けて』(共著)、『東アジアの越境環境問題：環境共同体の形成をめざして』(共著)、『サステナビリティの経済学』『環境経済学』『廃棄物とリサイクルの経済学』などがある。

#### 藤江 昌嗣

明治大学経営学部教授・ビジネス・  
イノベーション研究所所長、経済学博士



#### 略歴

1954年(昭和29年)、北海道生まれ。京都大学経済学部卒業、日本鋼管(株)、神戸大学大学院を経て、岩手大学、東京農工大学を経て、明治大学経営学部助教授、同教授、現在に至る。著書に『移転価格税制と地方税還付』、『ニューヨークだけがアメリカではない』、『テクノ・グローカリゼーション』(共著)等がある。

#### 佐々木 聡

明治大学経営学部教授・ビジネス・  
イノベーション研究所副所長、経営学博士



#### 略歴

1957年(昭和32年)、青森県生まれ。学習院大学経済学部卒業。明治大学大学院を経て、静岡県立大学経営情報学部助教授、明治大学経営学部教授。経営学博士。著書に『科学的管理法の日本的展開』、『日本の戦後企業家史』、『日本の企業家群像』、『日本の流通の経営史』等がある。

### 明治大学ビジネス・イノベーション研究所

2007年2月に明治大学に設立された当研究所は、地域の再生と活性化のためにアントルプルヌールシップが果たす役割を実証的アプローチつまり企業者史的視点から研究を行っています。また、経営者同士の横のネットワークづくりも大きな意味をもつものと言えます。

これらのほか、中小商工業におけるイノベーション・マインドの育成の研究・支援、中小商工企業のネットワーク化の研究・支援、地域の活性化・まちおこしの研究・支援などを行っています。

問い合わせ先：IBIM 明治大学ビジネス・イノベーション研究所事務局 伊藤・藤江 TEL & FAX 03-3296-2043  
E-mail:b.inove2007@gmail.com